

# 弘前大学学報



人文学部学生グループ  
「第12回 日銀グランプリ」優秀賞受賞

第 153 号  
平成28年12月号

---

## 目 次

---

### 学内ニュース

- 人文学部の学生グループが「第 12 回 日銀グランプリ」で優秀賞を受賞 ----- 1
- 延辺大学教職員交流プログラム（受入）を実施 ----- 2
- 平成 28 年度第 4 回地域社会研究科公開セミナーを開催 ----- 3
- AO 入試 I 合格者の入学前交流プログラムを開催 ----- 4
- 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム  
「平成 28 年度 6 大学合同シンポジウム」開催 ----- 5
- 弘前大学八戸サテライト「サービスイノベーションセミナー」開催 ----- 6
- 弘前大学・弘前市「国際交流会」及び  
本学留学生と弘前商工会議所経済人との懇談会を開催 ----- 7
- 外務省職員による海外渡航における安全対策のための講演会開催 ----- 8

諸 会 議 ----- 9

### 人 事

- 人事異動 ----- 11

主要日誌 ----- 12

学内規則 ----- 13

## 人文学部の学生グループが「第12回 日銀グランプリ」で優秀賞を受賞

日本銀行主催の学生論文コンテスト「日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」に出場した人文学部経済経営課程（経済学コース）3年生の学生グループが、優秀賞を受賞しました。

日銀グランプリは金融に関する論文を競うコンテストです。今年度は全国大学118チームの応募がありましたが、本学部の学生グループは、厳しい書類審査と12月3日（土）に日本銀行本店で開かれた決勝大会を経て、全国準グランプリにあたる「優秀賞」を受賞しました。昨年度の「最優秀賞」（全国グランプリ）に引き続いての入賞です。

論文のタイトルは「ソーシャル・インパクトが照らす未来～健康が生み出す新たな収益フロンティアの獲得～」です。学生グループは、実際の職場に出向いて、気軽に運動と食事を改善するプログラムを試行的に実施するなど、企業の健康改善を実現する活動を行いました。そして、健康意識への好影響を確認するとともに、一方で「外部性」とよばれる経済学の問題によって、中小企業では健康改善活動が行われにくくなっていることを発見し、同時にこの問題を金融的に解決する手法を考案しました。

結果発表後の講評では「中小企業の健康改善という、時代の最優先課題をとりあげ、チャレンジな研究を行っている」「金融機関のリスクを一層工夫すると、さらに良くなる」という評価を頂きました。人文学部学生グループの研究・提言の水準が、金融の最先端にいる審査委員の目からみても、非常に高いものであったことが伺えます。

受賞した学生は、「とてもうれしい。発表は緊張したけど、審査委員の方々も観客の皆さんも熱心に聞いて下さるので、意外なほど楽しかった（小原安珠さん）」「研究活動全体を通して、周りのみんなから良い刺激を受けられて、自分はすごく恵まれていた（福士太陽君）」と喜びや感謝を語るとともに、「審査委員の方々は、自分たちが思っていた以上に、もっと遠くて高いところから物事を見ているのだと思った（笠原圭織さん）」「金融機関のリターンをより高めたプランも作りたい（仲谷諒君）」と今後の自分のあり方や研究の方向性にも目を向けていました。



指導教員の飯島教授（前列左）と人文学部学生グループ



審査委員との記念撮影

## 延辺大学教職員交流プログラム（受入）を実施

平成 12 年（2000 年）8 月 28 日に大学間交流協定を締結以降、延辺大学（中国）と弘前大学は、教員及び学生の交流に努めており、これまで総勢 70 名以上の学生交流を行い、平成 25 年（2013 年）10 月 15 日に延辺大学内に弘前大学延辺事務所を設置するなど良好な関係を築いています。

今年度は延辺大学と弘前大学の更なる交流の推進のため、双方間の教員交流プログラムの対象を教員のみでなく職員にも拡大し、平成 28 年 12 月 6 日（火）～7 日（水）の日程で延辺大学国際交流合作処の金永燦（きんえいさん）処長を招へいしました。

金処長は、多忙のため 2 日間という短い滞在でしたが、弘前大学滞在中には、学長表敬訪問や農学生命科学部長表敬訪問、イングリッシュラウンジでの延辺大学紹介プレゼンテーション、延辺大学からの留学生との懇談などを行いました。

金処長は、「同じ年に創立された弘前大学のことを本当の兄弟のように思っている。数ある日本の協定校の中で一番強いつながりのある弘前大学との交流を来年度は様々な分野で更に発展させていきたい」とのお言葉を残し、延辺大学へと戻られました。



表敬訪問する金処長㊦



延辺大学紹介プレゼンテーションの様子

---

## 平成 28 年度第 4 回地域社会研究科公開セミナーを開催

平成 28 年 12 月 7 日（水）、弘前大学総合教育棟 206 講義室において、地域社会研究科公開セミナー「人口減少社会における地域創生とは」第 4 回目の講座を開催しました。

本セミナーは地域の社会人に大学院レベルの教育研究分野の学びを提供するために大学院地域社会研究科の授業カリキュラムを公開セミナー（全 4 回）として開放するものです。

最終回となる今回は地域社会研究科 土井良浩 准教授が『市民主体の「まちづくり」の展望』をテーマに「まちづくり」の歴史や青森県内外の具体事例や研究科での受託研究を通じた取り組みについて解説し、市民が主体となり地域課題に取り組む重要性について講義を行いました。

当日は県内外から自治体関係者、教育研究関係者、地域活動団体関係者、研究科大学院生等 24 名が受講し、講義終了後も土井准教授のもとへ地域課題解決のためのアドバイスや協力依頼を求めて受講生が集まるほど多くの質問が寄せられ、大変有意義な講義となりました。



土井准教授による講義の様子

---

## AO入試I合格者の入学前交流プログラムを開催

平成28年12月9日（金）、弘前大学文京町キャンパスにおいて「AO入試I合格者の入学前交流プログラム」を行いました。

このプログラムは、AO入試I入試合格者及びその保護者を対象に、入学前に教員や先輩学生と触れあうことで、大学生活への不安をやわらげるとともに、入学前学習の動機づけにつなげることを目的に行うものです。

当日は、4学部（人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学生命科学部）合格者の約8割とその保護者、合計約180人の参加がありました。ガイダンスでは、伊藤成治教育担当理事兼副学長のビデオレターによる挨拶の後、①入学前教育プログラム、経済支援など大学全体に共通する内容を扱った全体ガイダンス、②学部毎に、教育課程の概要、入学前の準備学習及び就職関係の説明や教員・先輩学生との交流会、校内見学などを行う学部別ガイダンス、③希望者を対象にした寮見学が行われました。参加者からは、「先輩との交流がとても良かった」、「入学までの期間を有効に活用していきたい」、「プログラムが円滑に進んで、わかりやすかった」等の声が寄せられ、有意義な一日となりました。



伊藤理事によるビデオレター上映

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム  
「平成 28 年度 6 大学合同シンポジウム」開催

弘前市内の 6 大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムでは、平成 28 年 12 月 10 日（土）に、弘前市民会館大会議室で「6 大学合同シンポジウム」を開催しました。

今年で 5 年目となる本シンポジウムは、「防災を考える『しなやか』に暮らせるまちへ」をテーマに、日常生活の中での防災・減災に対する意識と行動についての学びの機会を共有し、防災・減災を通じながら住民自治・住民による地域づくりの機運を高めるきっかけになることを目的とし、基調講演及びパネルディスカッションを行い、市民、学生、関係者合わせて約 60 名が参加しました。

基調講演では、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野和彦 氏を講師に迎え、東日本大震災及び熊本地震における避難所運営の取組をとおして、「命を守るために『交流』と『自治』が必要である」と、その重要性を説いていました。

また、パネルディスカッションでは、天野氏に加え、青森市の原別地域まちづくりを進める会で事務局長を務める工藤 健氏、弘前市経営戦略部防災安全課主事の小笠原 溪氏をパネリストとして迎え、工藤氏は、同会が実施している中学校での避難所運営訓練の様子を紹介し、「『防災』が地域の人と人を繋ぐ役割を果たしている」と述べ、小笠原氏は、弘前市で実施している防災マイスター育成講座の概要を説明し、「災害が少なく安全と思われている弘前市でも災害は起こるといふ事を意識し、身近な問題として積極的に話題提起して欲しい」と来場者に訴えていました。

最後に、本シンポジウムの進行役を務めた生島 美和弘前学院大学文学部准教授が、「防災を意識づけるためには、『しなじく（津軽弁で「根気強く」という意味）』続けていく教育の力が大切である」と述べ、参加者は、登壇者の話に真剣に耳を傾け、災害の少ない弘前における「防災」の重要性を考える大変有意義な機会となりました。



パネルディスカッションの様子



参加者多数の会場の様子

---

## 弘前大学八戸サテライト「サービスイノベーションセミナー」開催

弘前大学は、平成28年12月14日（水）八戸商工会館3階会議室において、「サービスイノベーションセミナー」を開催しました。

同セミナーでは、「IoT時代における新たな『おもてなし』観光サービス戦略」をテーマに、人口減少時代においてサービス業の振興を図るため、AIを活用したIoTによって、日本ならではのおもてなしの質を維持することや観光サービスへの活用法を考えることについて、株式会社フランチャイズアドバンテージ代表取締役社長 田嶋 雅美 氏からご講演いただき、約40名の参加者が理解を深めました。

講演では、観光地での情報提供や接客等にロボットや端末を活用している事例紹介や外国人観光客への対応の他、人口減少による従業員不足への対応策としても有効であるとの説明とあわせ、ロボットによるデモンストレーションも行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

このほか、経済産業省商務情報政策局サービス政策課長の佐々木啓介氏からIT活用支援事業に関する説明も行われ、セミナー終了後も参加者同士で活発な情報交換が行われました。



田嶋代表取締役社長



セミナー会場の様子

---

## 弘前大学・弘前市「国際交流会」及び本学留学生と弘前商工会議所経済人との懇談会を開催

平成 28 年 12 月 21 日（水）、弘前大学所属留学生と弘前市関係者がふれあい相互理解を深めるため、弘前大学創立 50 周年記念会館において弘前大学・弘前市「国際交流会」が開催されました。

今年度で 3 回目となる「国際交流会」では、佐藤学長，弘前市未来戦略研究センター森岡副所長，吉澤理事（企画担当）の挨拶の後，ハンガリー出身交換留学生バラッシュ・ジータさんのハンガリーのクリスマスソングの独唱，韓国出身交換留学生バン・ダソムさん，ジョン・ウンジュさん，ユン・オヨンさんの 3 名による韓国に古くから伝わる伝統芸能である農楽（ノンアッ）をアレンジした打楽器演奏「サムルノリ」が披露されました。続いて弘前市関係者と留学生の歓談の後，じゃんけん大会が行われ，勝ち残った留学生たちには弘前大学藤崎農場で作られたりんごジュースや弘前大学 T シャツ，半被が景品として配られるなどし，参加した弘前市民と学生たちは相互交流を楽しみ，今年度の国際交流会は盛況のうちに終了しました。

また，同日この会に先駆けて行われた本学留学生と弘前商工会議所経済人との懇談会では，弘前大学留学生 6 名と弘前市の企業人 6 名が一堂に会し，自己紹介に続いて，留学生たちがなぜ留学先として弘前を選んだのか，将来はどういった仕事に就きたいかななどを語り，企業人たちは熱心に聞き入っていました。



打楽器演奏「サムルノリ」の様子



交流会の様子

---

## 外務省職員による海外渡航における安全対策のための講演会開催

弘前大学国際連携本部は、平成 28 年 12 月 22 日（木）、総合教育棟 401 講義室にて、外務省職員による海外渡航における安全対策のための講演会を開催しました。

本講演会は近年多発する海外における自爆テロ等による治安情勢の悪化や地震、台風などの大規模災害等の頻発、大学生が巻き込まれる事件の発生に伴い、海外渡航の予定のある学生及び教職員に対する注意喚起の一環として、全学を挙げて安全対策の強化を図るため、外務省より領事局海外邦人安全課長 石瀬素行 氏と同じく領事局海外邦人安全課事務官 大森聡一郎 氏をお招きして開催したもので、海外での留学生生活を安全に過ごすため、留学生及び 20～30 代邦人の死亡事例や外務省が提供する安全に関する情報、テロの特徴と対処方法などが述べられました。

日本では当たり前と考えられている行為や動作が海外ではトラブルの原因になることやパリの指輪を使用したスリの手口など、石瀬海外邦人安全課長の豊富な海外生活での実体験に基づくエピソードに、参加者たちは興味深く耳を傾け、多くの質問も出されて海外渡航における危機管理の重要性を確認していました。



講演会会場の様子

## 中華人民共和国の青島農業大学と3校目の大学間交流協定締結

本学と青島農業大学（中華人民共和国）との大学間交流協定の調印が、郵送方式により相互に署名され、平成28年12月26日付けをもって滞りなく完了しました。有効期間は5年間で自動更新となっています。

青島農業大学は、1951年に設置された省立の大学です。農学系の学部で始まった大学であるため、青島農業大学という名称であります。人文学、教育学、芸術学、情報学、理学、工学等22学部77課程、大学院95コースを擁する総合大学で、多彩な交流が期待されています。青島農業大学のある山東省は日本向け食品の輸出が盛んなことに加えて、日系の食品企業やイオンなども進出しており、日中関係の重要性を体感するうえで好適な立地にあります。

これまで、2015年9月及び2016年9月の2回にわたり、学生海外PBL事業の派遣先として本学学生及び引率教員が青島農業大学を訪問し、双方の学生による両国の農業や専攻分野に関する発表と交流を行ったり、2017年度には、新たに開講予定の農学生命科学部「海外研修入門」の研修先として学生の派遣・交流が計画されるなど継続的な交流が展開される予定です。また、多岐にわたる専攻分野の学生を擁することから、本学大学院への進学者の増加にも期待がもたれています。



青島農業大学メインキャンパス



大学間交流協定書

---

## 諸会議

### ▼役員会

12月5日（月）

#### 審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
2. 国立大学法人弘前大学組織評価実施規程の制定について
3. 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
4. 平成29年度「弘前大学卓越研究者」支援事業募集要項（案）について
5. 平成28年度弘前大学グローバル(Grow×Local)ファンドの実施について
6. 寄附講座の設置及び設置期間延長について

#### 報告事項

1. 教員業績評価における評価項目及び評価基準の見直しについて
2. 大学入試センター試験への研究所等に所属する専任教員の協力について
3. 文部科学省関係機関最高情報セキュリティ責任者会議について
4. 弘前大学特定プロジェクト教育研究センターについて
5. 企画委員会報告（11月7日開催分）について
6. 新研究科設置構想について
7. 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成28年度6大学合同シンポジウムについて
8. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）「北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議」設立について
9. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）男女共同参画推進管理職セミナーについて
10. 「文部科学省情報ひろば」における弘前大学の企画展示について

12月19日（月）

#### 審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
2. 国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程の一部改正について
3. 弘前大学学則等の一部改正について
4. 地域連携センター（仮称）基本構想について
5. 国立大学法人弘前大学認定再生医療等委員会規程の制定等について

#### 報告事項

1. 中期目標・中期計画の変更手続き等について
2. 第3期中期目標期間における管理的経費のコスト削減計画について
3. 「平成27年度決算検査報告説明会（会計検査院）」について

- 
4. 平川市長による講演会「目指す『平川らしさ』～7つの挑戦～」の開催について（平成29年1月31日（火）開催）
  5. 放射線安全総合支援センターの進捗状況について

#### ▼教育研究評議会

12月13日（火）

##### 審議事項

1. 経営協議会の学外委員について
2. 国立大学法人弘前大学組織評価実施規程の制定について
3. 国立大学法人弘前大学ハラスメント防止等に関する規程の一部改正について
4. 平成29年度「弘前大学卓越研究者」支援事業募集要項（案）について
5. 平成28年度弘前大学グローバル（Grow×Local）ファンドの実施について
6. 寄附講座の設置及び設置期間延長について

##### 報告事項

1. 教員の採用等について
2. 国立大学法人弘前大学の平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について
3. 各学部における三つの方針について
4. 弘前大学GPAに関する要項の制定について
5. 平成29年度AO入試，社会人入試の実施状況について
6. 平成29年度大学入試センター試験における本学の志願者割当数について
7. 平成28年度科研費（補助金分・基金分）配分状況等について
8. 平成29年度科学研究費助成事業の申請状況について
9. 「文部科学省情報ひろば」における弘前大学の企画展示について
10. 委員会等報告
  - (1) 企画委員会報告（11月7日開催分）
  - (2) 教育委員会報告（11月30日開催分）

#### ▼教育委員会

12月 休会

## 人 事 異 動

### [採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年12月01日		正木 卓	助教(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当)
H28年12月01日		SHERIDAN PAUL ANTHONY	助教(大学院医学研究科アクティブライフプロモーション学研究講座)[H31.11.30まで]
H28年12月01日		追切 裕江	助手(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)[H33.11.30まで]
H28年12月01日		田中 誠悟	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)[H33.11.30まで]
H28年12月01日		成田 華菜	看護師(病院・看護)

### [命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年12月01日	教授(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	中路 重之	教授(医・アクティブライフプロモーション学研究講座)[H29.3.31まで]
H28年12月01日	准教授(医学系(基礎医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	高橋 一平	准教授(医・アクティブライフプロモーション学研究講座)[H31.11.30まで]

### [休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年12月03日	看護師(病院・看護)	千葉 知香子	育児休業開始[H30.3.31まで]
H28年12月06日	看護師(病院・看護)	葛西 奈々美	育児休業開始[H29.10.31まで]

### [休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年12月01日	主任(医学研究科)	和田 丈稔	期間延長[H28.12.31まで]

### [離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年12月31日	栄養士(教育・附小)	宮川 咲	任期満了
H28年12月31日	事務職員(総務・人事)	横山 翔	辞職
H28年12月31日	講師(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)	若佐谷 保仁	辞職
H28年12月31日	助教(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	福田 和歌子	辞職
H28年12月31日	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)	齋藤 傑	辞職
H28年12月31日	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)	成田 憲紀	辞職
H28年12月31日	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当)	田中 壽和	辞職
H28年12月31日	主任臨床検査技師(病院・医技)	刀稱 亀代志	辞職

---

## 主要日誌

- 12月 5日 第469回役員会
- 6日 教延辺大学教職員交流プログラム（受入）実施（～7日）
- 7日 平成28年度第4回地域社会研究科公開セミナー
- 9日 AO入試I合格者入学前交流プログラム
- 10日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム「平成28年度6大学合同シンポジウム」
- 13日 企画戦略会議  
教育研究評議会
- 14日 弘前大学八戸サテライト「サービスイノベーションセミナー」  
〃 経営協議会
- 19日 第470回役員会
- 20日 事務連絡会議
- 21日 弘前大学・弘前市「国際交流会」及び本学留学生と弘前商工会議所経済人との懇談会
- 22日 外務省職員による海外渡航における安全対策のための講演会
- 26日 中華人民共和国の青島農業大学と33校目の大学間交流協定締結

---

## 学内規則

(平成28年12月16日制定)

(制定)

○国立大学法人弘前大学組織評価実施規程

本学の各学部・研究科及び研究所について、教育研究等の質の向上及び機能強化の推進にを目的に、第3期中期目標期間新たな組織評価を実施するため評価実施に係る基本的な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

(平成28年12月21日制定等)

(制定)

○国立大学法人弘前大学認定再生医療等委員会規程

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○国立大学法人弘前大学文書管理規程

再生医療等の安全性の確保等に関する法律（平成25年法律第85号）に基づき、医学部附属病院において実施する再生等医療のうち、同法の規定による第三種再生医療等提供計画に係る審査等業務を行うため、本学に「国立大学法人弘前大学認定再生医療等委員会」を設置し、再生等医療の適切な提供体制の整備を図るため、上記の規程等を制定等した。

(平成28年12月21日一部改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学教員業績評価に関する規程

国際関連組織再編により国際連携本部に教員が配置されたこと、評価時期の変更により年度を跨いで評価（自己評価から評価結果確定まで）を実施していること、採用時期により活動実績がない分野は活動実績がないものとして評価すること、及び大学情報データベースの機能改修によりシステム上で教員業績評価報告書の提出が可能となったことに伴い所要の規定整備を図るため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年12月27日一部改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員就業規則

○国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

○国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則

○国立大学法人弘前大学職員の育児休業等に関する規程

○国立大学法人弘前大学職員の介護休業等に関する規程

○国立大学法人弘前大学ハラスメント防止等に関する規程

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成3年法律第76号）及び

---

雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和 47 年法律第 113 号）の改正に伴い、育児及び介護を行う職員に係る制度等について整備するため、上記の規則等を一部改正した。

弘前大学学報第153号

弘前大学総務部総務広報課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111